

第7回墨田区介護保険事業運営協議会 議事要旨

日 時 平成21年11月5日(木) 午前10時から午前11時30分
場 所 区役所12階 123会議室

1. 開会
2. 新任委員紹介【資料1】
3. 第3期墨田区介護保険事業実績報告について【資料2】
4. サービス部会活動状況について【資料3-1～3】
5. 「すみだ介護福祉フェア2009」について【資料4】
 - (1) 施設整備の概要【資料5】
 - (2) 平成21年度運営協議会等開催予定【資料6】
 - (3) 介護保険事業運営協議会任期満了に伴う委員改選について
6. 閉会

【配布資料】

【資料1】平成21年度墨田区介護保険事業運営協議会委員名簿

【資料2】第3期(平成18年度～平成20年度)墨田区介護保険事業実績報告

【資料3-1～3】サービス部会議事要旨

【資料4】「すみだ介護福祉フェア2009」(介護保険特集号)

【資料5】施設整備の概要

【資料6】平成21年度運営協議会等開催予定

【資料7】第6回墨田区介護保険事業運営協議会議事要旨

【配布】高齢者のしおり「たんぽぽ」平成21～23年度 保存版

第7回墨田区介護保険事業運営協議会 出席者

氏 名	所 属	出欠
◎平岡 公一	お茶の水女子大学教授	出席
○廣瀬 真理子	東海大学教授	出席
石川 幹夫	すみだ医師会	欠席
阿部 昌彦	本所歯科医師会	出席
柳 正明	墨田区薬剤師会	欠席
堀田 富士子	東京都リハビリテーション病院	出席
大屋 善次郎	墨田区民生委員・児童委員協議会会長	出席
今 牧 茂	墨田区社会福祉事業団事務局長	出席
庄 司 孝憲	墨田区社会福祉協議会事務局長	出席
羽生 隆司	特別養護老人ホーム はなみずきホーム施設長	欠席
○安藤 朝規	弁護士・墨田区法律相談員	出席
浮嶋 松男	墨田区障害者団体連合会副会長	出席
高松 一治	墨田区老人クラブ連合会会長	出席
澤部 紀美子	町会・自治会	出席
及川 栄子	墨田区介護相談員代表	出席
濱田 康子	すみだケアマネジャー連絡会代表	出席
佐藤 悟	墨田区訪問介護事業者連絡会副会長	出席
仲澤 優	区民代表	出席
加藤 みさ子	区民代表	出席
織田 雄二郎	墨田区企画経営室長	欠席
西田 みちよ	墨田区保健衛生担当部長	出席
横山 信雄	墨田区福祉保健部長	出席

◎ 会長 ○ 副会長

事務局出席者

藤原 操 介護保険課長
 高村 弘 晃 高齢者福祉課長
 林 高 義 介護保険課管理・計画主査
 江上 寿 恭 高齢者福祉課高齢者相談担当主査
 芦田 道 明 介護保険課事業者指導担当主査
 小野寺 初 枝 高齢者福祉課高齢者相談担当主査
 陣野原 京 子 介護保険課管理・計画担当主事
 石井 一 枝 介護保険課管理・計画担当主事

1 開会

- (事務局) 第7回墨田区介護保険事業運営協議会を開会する。なお本日は、傍聴希望者がいるので入室を許可してよいか。
- (会長) 許可する。
- (事務局) では、入室させる。

2 新任委員紹介【資料1】

- (会長) 本年度初めての運営協議会になる。この間委員の変更があったので始めに紹介をお願いする。
- (事務局) 新任委員を紹介する。

— 紹介 —

3 第3期墨田区介護保険事業実績報告について【資料2】

- (会長) 第3期介護保険事業計画実績の報告について、事務局から説明をお願いする。
- (事務局) 第3期事業計画実績について報告する。(地域支援事業については、高齢者福祉課長説明)

— 資料2報告 —

- (会長) 報告について、質問、意見あれば承る。
なければ、後ほどでも気づいた点があればお願いしたい。

4 サービス部会活動状況について【資料3-1～3】

- (会長) 議題4についてサービス部会の活動状況を、廣瀬部会長から報告をお願いする。
- (副会長) 報告する。4月以降、第5回から第8回の計4回行ったが議事録ができています、第5回～第7回について報告する。
部会では、両課長から報告のあった実績報告のような数値で現れないところを議論している。部会の目的が3つある。
重点の1点目は周知徹底。区民の方に介護保険制度を理解していただくための周知徹底、理解の程度によって周知方法を変えなければならない。井戸端会議の開催等、周知方法の検討。今年度は「たんぽぽ」情報誌を中心に検討した。
2点目は実態把握。部会ができたときからのテーマである。数値に表れない制度と現実とのギャップなど、墨田区の介護システムに全体に影響するのではないかと具体的に議論している。
3点目は、サービスの質の向上。区民のニーズにあったものを適切な質を維持しながら、サービスを提供していくにはどうしたらよいか検討している。

今年度も3つの柱をどのように盛り込むかを時間を割いて検討してきた。資料3-1の第5回議事要旨の5ページに上げたキーワードに従って検討してきた。優先的に考えていかなければならない項目として、リハビリの重要性、一人暮らしの方、また一人暮らしの方で認知症の場合は緊急対応が必要な方が多い。これまで議論されてきたがなかなか具体的に見守りネットワークの機能できていない。その方たちを特別のターゲットに策を考えていく必要があると論議した。医療従事者間のネットワーク作り、福祉サービス間のネットワーク、医療と福祉のネットワーク作りと言われるが、横のつながりができていないので難しいところもある。

区民への情報提供の有り方では、井戸端会議の見直しがある。来てくださいと声を掛けてこないのはどうしてか、関心はあるが制度の変更が多く判りにくくなっているのではないかなど議論した。

そのような中、優先的に時間の制限があった「たんぽぽ」から検討した。問題があったときに引きやすく項目を精査したり、工夫を重ね、今までと違うものにとの思いから、お手元に配布したものが出来上がった。まだ不備があると思われるので、ぜひご意見をいただきたい。

次に、11月11日に介護フェアが開催される。区民への周知の一環になると議論された。当日のスケジュール等を広報誌へ掲載などして周知を図っている。いろいろな方へ声掛けをしていただきたい。世代を超え、これから介護を担う世代の方に参加していただけたらと思う。

詳細は次回の運協で報告するが、実態把握が大事であることから第8回部会ではニーズの高まっているリハビリテーションについて、堀田委員からレクチャーを受け、訪問看護、訪問介護、ケアマネの各事業者代表と実際に問題になっていることを議論し、リハビリ制度と実態のギャップがクローズアップされた。それぞれの分野においての問題も出され、特に訪問介護の分野では制度改正により、介護予防が入ったことによりきつくなり、訪問介護の安定的なサービスの提供が難しくなっている状態にある。背景には専門職の労働問題、プロがプロとして働くことの難しさ、根底には人材不足がある。まだ住民の周知度の不足から専門職に対し理解されていない部分がある。専門職間の連携、区民と専門職間の距離がある等、区がコーディネーターとしてのどう役割を果たしていくのか含めて、次期部会で問題として取り上げて議論したい。以上である。

- (会 長) 部会員の先生方いかがか。質問、ご意見あれば、また改訂された「たんぼぼ」の意見あれば。
- (副 会 長) 事務局が苦勞されてまとめられた、事務局の意見等あるか。
- (事 務 局) 表紙がこれまでどれが新しいものなのか判りにくかったので変えた。年度を入れ、いつのものなのか判るようにした。サービスの一覧を内容ごとに作り、引やすいようにした。カラー版にし、索引をつけた。緊急用のメモを作成したが、紙が薄い、壁に貼ったらいい等意見をいただいている。今回はこのような形にした。内容的には、区役所、社協でやっている事業の内容はできるだけ多く載せるように工夫したが、すべて載せられたわけではないのでご理解いただきたい。これまでと変わって、見づらいつの意見もあるが概ね好感を得ている。
- (会 長) 部会の報告、「たんぼぼ」について何かあるか。質問等なければ、次の議題へ移る。

5 「すみだ介護福祉フェア2009」について 【資料4】

- (会 長) 議題である「すみだ介護福祉フェア2009」について説明をお願いします。
- (事 務 局) 資料4の10月21日号介護保険特集号の一面に掲載されている内容で説明をする。
- 資料説明—
- (会 長) 質問あるか。質問等なければ、次の議題へ移る。

6 その他報告事項【資料5】【資料6】

- (会 長) 議題のその他報告事項について説明をお願いします。
- (事 務 局) この間に開設した施設、今後の施設整備予定について説明する。
- 資料説明—
- (会 長) 資料の一部、人と箇所の標記が違う。修正願いたい。施設整備の計画が順調に進んでいる部分と新たな仕組みによる緊急整備追加とこの3年間に整備する必要についての説明であった。質問だが、地域密着の選定について、設置者と事業運営が違うのはなぜか。
- (事 務 局) オーナー創設型の施設である。設置者はオーナーが施設を建設し、NPO法人等に貸し出し運営される。このオーナー創設型については東京都も積極的に推進して補助制度を設けている。墨田区では初めてのケースである。

- (会 長) 了解した。他にあるか。なければ、年間予定について、事務局から説明願いたい。
- (事 務 局) 今年度の予定は、今回が第1回である。来年3月に第2回を予定している。また、3月で改選になるため4月に委嘱式を予定している。
- (会 長) 他にあるか。なければ、事務局から事務連絡を聴取する。
- (事 務 局) 委員の任期は2年間である。来年3月に満了となる。今後各団体等に委員の推薦依頼する予定である。よろしく願いたい。
- (会 長) 議題は以上だが、全体を通していかがか。
- (副 会 長) 部会でいろんな議論を立ち上げ、第4期の途上にあって、流れとしてはいい方向にあると思う。いろいろな課題が見えてくる。現場での苦労の問題点が浮き彫りになったが、これからの施策に必要なことだと考える。さらに浮き彫りにしていく努力を続けていくべきであろう。施設の充実は努力されている。地域包括支援センターを中心とした地域支援の状況に関心がある。一人暮らし、高齢者のサービスの把握の課題があると思われる。新聞記事で見たが、他区で行われているボランティアで高齢者を訪問しているようだ。具体的に地域の見守りをどう実践するのか。
- いろいろなマンパワーの活用を考えてよいのではないか。ボランティアの活用、福祉所管が区の全体の連携を図りながら何をすべきか。いろいろなマンパワーの活用を医療関係を含めて、福祉サービスが行き渡るように努力し、実行してほしい。部会でも協議していきたい。
- (会 長) 重要な点を指摘していただいた。その他ご意見はあるか。高齢者の最近の取組みはあるのか。
- (事 務 局) 見守り事業については、仕組みづくりを行っている。民生委員さんを中心にした高齢者の実態をどう常時、把握をしていくか。行政から、地域の情報をどう高齢者に伝えていくか。情報の流れのバイパスを作っていく仕組みを構築している。町会自治会に話をしている、理解を得ながら進めていきたい。老人クラブの力を借りて、見守り活動を担保していきたい。取り掛かって半年ほどで明確な成果は現れていない。多くの方の協力を得ながら進めていきたい。
- (副 会 長) いろいろな力を巻き込むことは大事なことである。「たんぽぽ」に初めて紹介していただいた介護相談員の活動があるが、ボランティアの力、問題を把握していく力、相談を受ける力を養ってきた。相談員、民生委員や地域の力や、みんなの熱意を巻き込めるシステムを作るのが区の役割ではないか。人を並べるだ

- けでなく、いかに有機的につないでいくのか、把握していただき、みな力を生かしたシステムづくりをお願いしたい。
- (会 長) 部会への情報提供をお願いしたい。部会で協議することが多いが、よろしくをお願いしたい。他にあるか。なければ、閉会とするが、次回日程は決まっているか。
- (事 務 局) 日程調整して、早めにご連絡する。

4 閉会